

+ 技術力

立花エレテックは電機・電子の「技術商社」です。
トータルソリューションで価値ある未来を創造します。

未来指向という
チカラ。



先進技術で豊かな未来を――

**ELECTRIC
ELECTRONICS
TECHNOLOGY**

<http://www.tachibana.co.jp/>



株式会社 立花エレテック

TACHIBANA ELETECH

東証第一部(証券コード:8159)

本社/〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25 TEL:06-6539-8800

支店/東京・名古屋
支店/東関東・北関東・神奈川・三河・北陸・三重・滋賀・南大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州
海外/香港・シンガポール・台湾・青島・上海・韓国・タイ・インドネシア
北京・深圳・武漢・大連・マレーシア

TOP 奥野製薬工業

モノづくりのための、モノづくり。

to the next innovation

無電解めっき薬品

プリント配板用処理薬品

プラスチックめっき用処理薬品

金属表面処理薬品

>Chemicals for Electroless Plating

>Treatment Chemicals for Printed Wiring Boards

>Treatment Chemicals for Plating on Plastics

>Chemicals for Metal Finishing

アルミニウム合金用処理薬品

焼き付け用ガラスカラー

無鉛ガラスカラー

精密電子部品材料

>Treatment Chemicals for Aluminum Alloys

>Glass Color for Firing

>Lead-free Glass Color

>Chemicals for Electronics Parts / Components

奥野製薬工業株式会社 OKUNO CHEMICAL INDUSTRIES CO., LTD.

本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町4丁目7番10号

大阪表面処理営業部 TEL (06) 6968-6931

東京支店 TEL (03) 3912-9244

国際部 TEL (06) 6961-7802

名古屋支店 TEL (052) 871-1601

E-mail kikakukaiatsu@okuno.co.jp



(ホームページ)

アジアビジネス

AEC設立でチャンス拡大

パートナー選びが成功のカギ

インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの10カ国で構成される東南アジア諸国連合(ASEAN)は2015年末までの共同体設立を目指す。ASEAN経済共同体(AEC)はビジネス関係者のビザ免除制度や域内関税の撤廃など、「ヒト・モノ・カネの自由化」が行われる。これまでアジアビジネスの中心にあった中国、台湾、韓国市場にASEAN市場が加わり、アジアビジネスは活発化している。

AECが設立すると域内人口6億人、名目国内総生産(GDP)約1・8兆円、域内総貿易額2・1兆円という巨大市場が誕生する。すでに多数の外国企業が進出しており、ビジネスを展開している。自動車産業から電子部品産業に至るまで幅広い分野の製造業が事業展開しており、ASEANでのモノづくり中心地、タイ、周辺のベトナムやフィリピンは最終生産のための部品生産国として発展が期待される。また豊富な天然資源があるだけでなく、世界第4位の人口で市場として整備(優遇税制措置など)

ASEANの中でもIT、デジタル産業進展で注目されているのがマレーシア。1996年から進めている「マルチメディアスーパーコーリドール(MSC)」は同国が2020年の先進国入りを目指して打ち出した計画。同国政府はクアラルンプールシティセンター、サイバジャヤなどの地域をIT特区として整備(優遇税制措置など)

ASEANでのビジネスはさらに拡大する可能性がある。それがASEAN+6、つまり日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランドの6カ国がASEANとの経済連携を目標とする「東アジア地域包括的経済連携(RCEP)」だ。11年11月、ASEAN関連首脳会合において正式に交渉がスタート。15年2月にはタイ(7回目)の事務方による交渉会合が行われている。AEC、RCEPなど、アジアビジネス、マーケットはさらに拡大する可能性がある。



マレーシアのデータセンター(日立サンウェイ)

目指し、新工場を建設中だ。東南アジアに進出している、自動車部品や電子部品といった日本のメーカーから需要が高まっている付加価値の高い表面処理業を製造する。敷地面積は1万6000平方メートル。日本人の駐在員2人と現地での従業員15〜20人でスタートする予定で、月産5000本の生産を目指す。

奥野製薬工業

有力企業の製品・技術
順不同

立花エレテック

立花エレテックの中国拠点では、2014年度に現地製造業から放電加工機を大量受注した。背景には中国における人件費高騰で自動化投資が本格的に始まっていることがある。同社グループでは半導体デバイス事業でもローカル企業向けにモーター制御機器のデザイン・イン(顧客企業の設計段階から提案する)がスタートしており、同事業が軌道に乗りつつある。この事業には中国・深圳に続いてマレーシアに設置した技術センターが寄与している。

日立システムズは業務システム設計構築、強固なデータセンター(DC)基盤を活用したアウトソーシング、全国約300カ所のサービス拠点とコンパクトセンターなど、多彩なサービス、インフラを生かした高品質な運用・保守サービスやソリューションを提供。海外では現地子会社である中国の日立システムズ(広州)、マレーシアをはじめ東南アジアをカバーする日立サンウェイ

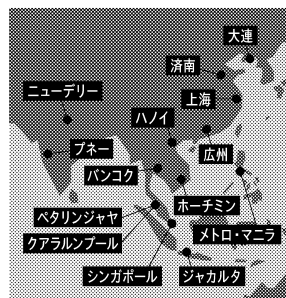
日立システムズ

インフォメーションシステムズ、インドの日立システムズマイクログリニックス、イタリアの日立システムズCBTを通じて、エーティン導入、アプリケーションサービス、マネージドサービス、DC関連サービスなどを行っている。15年5月に日立サンウェイがマレーシアで新DCを開業。万一の際のデータ復旧サービス、RaaSの提供も始める。

HITACHI Inspire the Next

グローバル展開を加速するお客さまの頼れるITパートナーをめざして。

日立システムズは、国内外で事業拡大を図るお客さまに向けて、国境の枠を超えて最適化したITソリューションを提供するため、海外拠点の整備を進めています。成長著しい中国や東南アジア、インド、そしてイタリアをはじめとするヨーロッパ市場を中心に、各国子会社の優れた人材や拠点網を生かしたITインフラ構築、運用サービスなどをワンストップで提供。お客さまの事業拡大やITガバナンスの整備を強力に支援します。日立システムズは先進のIT技術で、お客さまに驚きと感動をもたらすサービスを提供してまいります。



日立システムズのアジアにおける主な拠点

日立システムズ 海外進出支援サービス

導入事例はこちら <http://www.hitachi-systems.com/global/>

現地に最適化したITで、その先のグローバルソリューションへ。

写真は全てイメージです。